

## 尾張旭市学校給食運営委員会議事要旨

### 1 開催日時

令和元年7月11日(木)

開会 午後1時30分

閉会 午後3時00分

### 2 開催場所

尾張旭市学校給食センター 2階 食育指導室

### 3 出席委員

岩瀬 由知、松原 智憲、秋田 咲余、浅井 真理子、柴田 麻里子、山本 陽子、  
伊藤 祐子、伊戸川 みどり、藤村 育子、松本 浩一、村上 洋、長谷川 環 12名

### 4 欠席委員

金森 俊輔、伊藤 彰浩 2名

### 5 傍聴者数

0名

### 6 出席した事務局職員

教育部長 大津 公男、所長 鬼頭 純子、係長 戸田 慎也、副主幹 森永 久美、  
栄養教諭 曾根 規容子、栄養教諭 浅野 絵梨、栄養教諭 大澤 綾奈

### 7 議題等

(1) 尾張旭市学校給食運営委員会の委員長及び副委員長の選出

(2) 報告事項

ア 平成30年度学校給食実施報告について

イ 平成30年度学校給食センター食育事業結果について

ウ 令和元年度学校給食センター食育事業(4月～6月)について

## 8 会議の要旨

所長	委員出席状況を報告 委員14名中12名の過半数の出席で会議成立を報告 会議公開を通知 配布資料の確認
教育部長	1 あいさつ 教育部長あいさつ
委員	各委員自己紹介
事務局	事務局員自己紹介
所長	学校給食運営委員会の役割等について説明 学校給食センター設置条例第15条に基づき審議すること。 任期が本年7月1日から1年間であること。 会議を年2回ほど開催する予定であること。
所長	2 正副委員長の選出 尾張旭市学校給食センター設置条例施行規則により、委員の互選により選出します。 互選の方法について意見はありまいか。
長谷川委員	推薦がよいと思います。
所長	推薦に賛同する方の拍手を求めます。 ＜拍手多数＞ 拍手多数のため推薦とします。 どなたか、委員長の推薦をお願いします。
長谷川委員	旭中学校長の松本委員を推薦します。
所長	＜他に推薦者がいないことを確認＞ 他に推薦がないようですので、松本委員の推薦に賛同する方の拍手をお願いします。 ＜拍手多数＞ 拍手多数のため、松本委員を委員長に選出します。 松本委員は委員長席へ移動をお願いします。
松本委員長	松本委員長あいさつ 副委員長の互選の方法について意見はありますか。
村上委員	委員長と同様に推薦がよいと思います。
松本委員長	推薦に賛同する方は拍手をお願いします。 ＜拍手多数＞ 拍手多数のため推薦とします。

	どなたか、副委員長の推薦をお願いします。
村上委員	本地原小学校PTA副会長の山本委員を推薦します。
松本委員長	<p>&lt;他に推薦がないことを確認&gt;</p> <p>他に推薦がないようですので、山本委員の推薦に賛同する方は拍手をお願いします。</p> <p>&lt;拍手多数&gt;</p> <p>拍手多数のため、山本委員を副委員長に選出します。</p> <p>山本委員は副委員長席へ移動をお願いします。</p>
山本副委員長	山本副委員長あいさつ
松本委員長	<p>3 報告事項に入ります。</p> <p>事務局は、(1) 平成30年度学校給食実施報告について説明してください。</p>
事務局	(1) 平成30年度学校給食実施報告について説明
松本委員長	まず、平成30年度学校給食関係決算報告について質問はありますか。
松本委員長	<p>&lt;質問がないことを確認&gt;</p> <p>次に、平成30年度学校給食実績（P3まで）について、質問はありますか。</p>
藤村委員	小学生は、1年生から6年生まで同じ分量を食べているのですか。
曾根栄養教諭	小学校低学年、中学年、高学年、そして中学生の4段階に、栄養価、分量と分かれています。
藤村委員	給食費は全ての児童生徒が同額ですか。
曾根栄養教諭	小学生は同額です。
松本委員長	他に質問はありますか。
松本委員長	<p>&lt;他に質問がないことを確認&gt;</p> <p>残さい・飲み残し牛乳に関する部分について質問はありますか。</p>
藤村委員	学校によって、食べ残し・飲み残しの量に差があるのはなぜですか。
曾根栄養教諭	担任の声かけにより、食べ残しの量が変わってきます。
藤村委員	中学生の食べ残しが多くあります。
曾根栄養教諭	提供量が多いことも理由の1つです。
藤村委員	食べ残しの処理費用はどうなっていますか。
事務局	残さいについては、給食センター内の生ごみ処理機で処理しています。
藤村委員	処理した生ごみは、肥料として利用しているのですか。
事務局	液体に分解して下水へ流しています。肥料としては使用していません。

教育部長	中学校の残さい、飲み残し牛乳は、旭、東中に比べて西中が少なくなっています。昨年度、西中で食育の取組の研究発表があり、食育に関する教育、指導の成果が数字にも現れていると思います。
所長	市内小中学校12校に対して、栄養教諭3人がそれぞれ4校を担当しており、その中に中心となって食育指導を行う在籍校があります。在籍校では栄養教諭の日々の指導が行き渡り、残さいや飲み残し牛乳の量が少ない結果となっています。
岩瀬委員	残さいや飲み残しが減ることはいいことですが、一方で嫌いなものでも無理やり食べさせる等、そこまでして残さいを減らすことには違和感があります。昔は給食時間が終わっても、食べきれない場合は、残されて食べていました。今は残してもいいのか、最近の傾向について、子どもの権利の観点からお答えいただけますか。
所長	現場の学校の先生方から、実際にどのように対応されているのか伺えますか。
長谷川委員	昔は、残さずたくさん食べるように指導する時代もありました。今は、給食時間後に残ってでも食べさせるようなことはしていません。食材を大切にするとか、栄養のあるものをきちんと食べる指導は、どこの学校でも行っています。アレルギーや子どもの気持ちも考えて、話し合いながら指導しています。食育を行った学校で成果が出ているのは、そのような面で大切だと思います。
村上委員	楽しく会食をするということと、成長期の栄養バランスという指導を通して、子どもが理解した上で食事が取れるような指導を行っています。無理やり食べさせるような指導はしていません。担任の先生により差はあるかもしれませんが、食べられる範囲で食べてみようという指導をしています。
松本委員長	他に質問はありますか。
松本委員長	<他に質問がないことを確認> 次に、行事食、学校給食センター施設等主要事業に関して質問はありますか。
松本委員長	<質問がないことを確認> (2) 平成30年度学校給食センター食育事業結果について、説明を進めてください。
事務局	(2) 平成30年度学校給食センター食育事業結果について説明
松本委員長	ただ今の説明について、質問はありますか。
柴田委員	食育指導室や食育実習室は、一般市民も借りられるのですか。

事務局	食育に関わる目的であれば、団体でも個人のグループでも借りられます。
柴田委員	申込みはどのようにすればいいのですか。
事務局	電話で問い合わせただければ、空き状況を確認し、調整します。
柴田委員	費用はかかりますか。
事務局	かかりません。
柴田委員	私は、新池交流館ふらっとや東部市民センターで調理室を借りて栄養講座を開き、調理もしています。このような講座が給食センターでも開催できればよいと思います。
所長	給食センターの調理室はIHのため、講師や参加者がIHに慣れていない方や不得意な方だと、公民館等と違い、使い勝手が難しい場合がありますので留意してください。
松本委員長	他に質問はありますか。
松本委員長	<他に質問がないことを確認> (3) 令和元年度学校給食センター食育事業について説明を進めてください。
事務局	(3) 令和元年度学校給食センター食育事業について説明
松本委員長	ただ今の説明について、質問はありますか。 <質問がないことを確認> 質問はないようですので、4 その他へ進んでください。
所長	来年度から給食の牛乳容器が、現行のびんから紙パックへ変更される予定です。紙パックへの変更は、学校や給食センターへの影響が大きいいため、慎重に取り組んでいきますので、御理解と御協力をお願いいたします。
松本委員長	紙パックへの変更は決定事項ですか。詳細はどのようになっていますか。
所長	牛乳協会の会長から改めて正式な申し入れがある予定です。紙パックへの変更は、ほぼ確実に行われると思います。
松本委員長	今までの概念とは大きく変わると考えられます。
藤村委員	牛乳は常温ですか、冷蔵ですか。
所長	冷蔵です。
藤村委員	(紙パックに変更しても) 飲み残しがあれば、今までと同じ処理をするのですか。
所長	容器が変わっても、飲み残しがあれば同じように処理をします。

藤村委員	紙は別で処理をするのですか。
所長	その点については、今後調整することになります。
松本委員長	他に質問はありますか。 <他に質問がないことを確認> 以上で議題は全て終了しました。 次回の委員会の開催予定について、説明をお願いします。
事務局	次回は、来年2月の開催を予定しています。 事前に案内を送付いたします。
松本委員長	全体を通して質問がありますか。 <質問がないことを確認> 以上をもって、本日の会議を終了いたします。